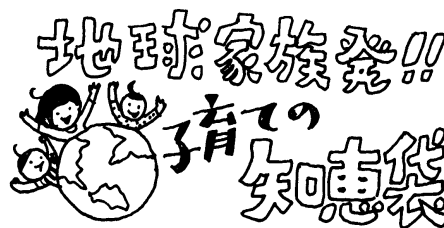


保育園での異文化体験エピソード



その2 スプーンがないと…?



イラスト・うつろあきこ

イギリス育ちのTくん（4歳）が、夏の1か月間だけ保育園の一時保育を受けることになりました。さて、このTくん、給食のときに、いつも味噌汁・スープを残してしまいます。担当の保育者が理由を聞いても、日本語をほとんど話せない彼は、押し黙るばかりです。

たまたま、英語を話すことができる職員がクラスに行った際、話してみると…、

T スープは大好き!

職員 じゃあ、なぜ残すの?

T だって… スープ用のスプーンがないじゃない!

スープは、「飲む」と「食べる」という食文化の違いがあります。さらに、「すする」と「飲む」ということも違ってきます。

Tくんは、スープはスプーンがないと「食べられ」なかったのです。そこで、スプーンをあげると、Tくんは一気に味噌汁を「食べ」きりました。

あなたの園では、味噌汁を「飲み」ますか? 「食べ」ますか?

私たちの園では、スプーンで食べるということも尊重するようになりました。

(保育国際交流運営委員会前委員・齋藤祐善)

「地球家族ネットワーク」へのお誘いとエピソードのお願い

保育は、世界中の人と仲よく生活できること（平和）を伝える役割があります。

そこで、国際交流や外国籍の子どもたちの保育について情報交換をしたい方は、「地球家族ネットワーク」に参加してみませんか?!

また、外国籍の子どもを受け入れて、心に残るエピソードがありましたら、ぜひお寄せください。

全私保連 保育国際交流運営委員会

TEL 03-3865-3880 / FAX 03-3865-3879

E-mail : ans@zenshihoren.or.jp